

募集しています！

川崎市災害時看護支援ボランティアナース

身近な場所で支援活動
をしてみたい！

災害時看護支援ボランティアナースQ&A

Q 「災害時看護ボランティアナース」とは？

A 川崎市看護協会に登録された看護職で、
川崎市からの要請に基づいて活動します。



Q どのような活動をするのですか？

A 川崎市医師会を中心に構成された医療救護班に加わり、
災害時の看護支援活動をおこないます。



Q 活動場所はどこになりますか？

A 市内の避難所・避難所内医療救護所での活動になります。

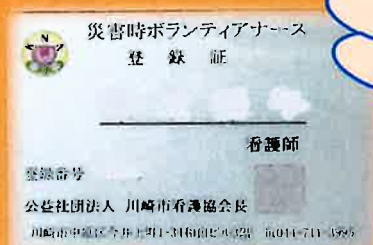
Q 活動の時期や活動の期間はどのくらいになりますか？

A 活動開始時期は、発災後3日以降からとなります。
1回の活動期間は1日間（日帰り）となります。



「災害時看護支援ボランティアナース」登録の要件

- ・看護職の免許を有する方
- ・川崎市看護協会が主催する「災害時看護支援ボランティアナース養成講座」を受講した方
- ・ボランティアナースとして活動の意思がある方



あなたの支援を待って
いる人がいます！！

川崎市災害時看護支援ボランティアナース

募集案内

わたしたちが住む川崎市内の被災時に、医療救護活動を支援していただける看護職の募集・養成・登録を行っています。

「災害時看護支援ボランティアナースとは」

川崎市からの要請に基づいて、川崎市医師会を中心に編成された医療救護班に加わり、災害時に看護支援活動を行うため川崎市看護協会に登録された看護職のことで

す。

登録の要件

- ・看護職の免許を有する方（保健師・助産師・看護師・准看護師）
- ・川崎市看護協会が主催する災害時看護支援ボランティアナース養成講座を受講できる方
- ・災害時に指定の医療救護所に参集できる方
- ・災害時医療救護班の活動に協力できる方



登録方法

災害時看護支援ボランティアナース養成講座へご参加ください。

養成講座は年1~2回 川崎市看護協会が開催します。ホームページでご確認下さい。

養成講座受講後、所定の登録申請用紙に必要事項を記載され、看護職免許証をご用意いただき川崎市看護協会事務局へご持参ください。

後日、登録証をお渡しいたします。

災害時看護支援活動の実際と流れ

川崎市看護協会が川崎市から、協定に基づく災害支援の協力要請を受託します



川崎市看護協会からボランティアナースへ派遣要請をおこないます



ボランティアナースの派遣要請受託の可否を確認し、派遣場所（区）を伝えます



ボランティアナースは派遣指定された避難場所へ出動していただきます



各区の指定された避難所内医療救護所等で、医療救護班チームに合流します



医療救護所内の区の担当や同行メンバー等と活動内容を確認しあい、救護活動を実施します



医療救護活動終了後、看護協会へ報告していただき帰宅となります。

後日「災害時看護支援活動・防災訓練参加報告書」を看護協会へ提出していただきます。



災害看護特集

災害時看護支援ボランティアナース 養成講座に参加して

川崎看護専門学校 宇山 美保



日本看護協会 災害支援ナース
上路 麻美氏

昨今、日本各地で地震や豪雨による災害が後を絶たない状況が続き、被災者の方への看護支援が必要とされています。居住地である川崎市で、私にも何かできることはないかと思い今回の講座を受講しました。

講座では、川崎市の災害対策、多職種連携、災害支援の実際、ボランティアナースの位置づけなどを学ぶことができ、有意義な時間となりました。看護支援するにあたっては災害に対する知識や技術だけでなく、精神的、物理的環境調整、多職種と連携することからコミュニケーション力やマネジメント力が必要なことを学びました。そして、何より「できることから始める」ことが大切であると思えた時間となりました。

災害はこうしている間にもいつ起こるか分かりません。そのため、まずは自助・公助の見直し、継続的に講座に参加し知見を深め、私のできる範囲で災害支援を行っていこうと思います。



災害時看護 I 「急性期のトリアージの実際」

石心会 第二川崎幸クリニック 山口 恵子



救急看護認定看護師
吉田 優作氏

昨年の台風による多摩川氾濫より、近隣の小学校に100名ほど避難されたのを耳にし、一人の看護師として役立ちたい思いが受講動機の一つで研修参加をしました。

トリアージ演習では、ケースごとにトリアージ色カードを挙げました。悩んだ場合は、₁アンダートリアージと判断せず、₂オーバートリアージする事も学び、トリアージする際、高ストレスとなり得ることも感じました。また、トリアージタグを記載してみると複写が薄く、実践することで多くを学びました。

川崎市看護協会では災害ボランティアナースを更に増やし、地域貢献ができるよう研修を企画しているとのことでした。

今回、当院は私を含め2名が登録し、4名となりました。共に院内の災害訓練を考え、貸し出しされたピブスや備品を準備しながら、災害時には個人として、組織としても災害看護を考えることができました。地域の看護師らと協働できるようこれからも災害時看護を学んでゆきたいと考えます。



注) 1: アンダートリアージとは 適切な基準よりも、低めの判断をしてしまうこと。

日常診療においてもアンダートリアージは防ぎ得る死の一因である。

2: オーバートリアージとは、適切な判断よりも高めに行うこと。

災害時看護Ⅱ 「避難所での災害保健医療」

加藤順クリニック 西村 雅恵



川崎市災害医療コーディネーター
大城 健一氏

コロナ感染対策の下、『災害時看護の亜急性期の避難所での保健医療』の講義を聴きました。災害が起きたら、先ず災害現場の状況を把握することです。災害時の問題は、一つではなく複雑に絡み合っていますので、生命、健康、生活を守る為の優先順位をつけ、誰を優先するかではなく、その人が受けているケア内容で判断し、滞ったら生命を優先することです。避難所ではニーズが刻々と変化しますが、そのニーズに対する具体的な対応策を示されていました。川崎市は日本公衆衛生協会・全国保健師長会作成の「大規模災害における保健師の活動マニュアル」にある避難所情報日報の最新版で対応しており、情報が共有されています。次に、災害看護における心のケアとして、災害後のメンタルヘルスとして起こるASDとPTSDの違いを学びました。災害時に起こりやすい危機に対するストレス反応や子供たち・弱者のストレス反応に対して、その過程を知り、反応に気づき、支援することが重要ですが、私たち看護師がその影響を受けないことも重要であると思いました。

